

## メキシコ政治情勢（1月）

### 〔概要〕

#### 【内政】

- 4日、エル・フィナンシエロ紙が、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。ロペス・オブラドール大統領の支持率は67%で、前月比1%増。
- 11日、「ロ」大統領、福祉大臣他、政府要職の一部交代人事を発表。
- 17日、エネルギー関連憲法改正案に係る議会公聴会が開始（2月15日までを予定）。
- 18日、国家選挙機構（INE）、4月10日の大統領信任／罷免投票の開催要件充足を発表。

#### 【外交】

- 6日、エブラル外相がチリを訪問し、ボリッチ同国次期大統領と会談。
- 6～7日、アルゼンチンでラ米カリブ諸国共同体（CELAC）外相会合が開催、議長国がメキシコからアルゼンチンに交代。
- 10～14日、墨在外公館長会議が開催。
- 10日、北朝鮮によるミサイル発射に関し、国連安保理で墨国連常駐代表が批判演説。
- 12日、日墨外相電話会談が開催。
- 14日、墨政府、ジャマイカにアストラゼネカ社製ワクチンを贈与。
- 18日、墨グアテマラ外相会談がメキシコ市で開催。
- 19日、墨・インド外相電話会談が開催。
- 20～21日、グランホルム米国エネルギー長官が訪墨。
- 25日、「エ」外相がコロンビアを訪問し、ラミレス同国副大統領兼外相と会談。
- 27～28日、「エ」外相がカストロ・ホンジュラス大統領就任式に出席するため、同国を訪問。
- 31日、墨米ハイレベル治安対話のフォローアップ会合がメキシコ市で開催。

#### 【内政】

##### 1 大統領支持率等に係る世論調査結果

(1) 4日、エル・フィナンシエロ紙が、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。ロペス・オブラドール大統領の支持率は67%で前月比1%増。不支持率は29%で前月比2%減。

(12月10～12日及び17～19日に、全国の有権者1,100名を対象に電話で調査を実施。誤差±3.0%。\*を付した質問は、同月10～12日に600名を対象に実施。)

ア 「ロ」大統領の取組を支持するか。

・支持する：67%（前回（客年11月、以下同じ）66%）

- ・支持しない：29%（前回31%）
- イ 「ロ」大統領の取組を支持するか（通年の平均値）。
- 2019年
- ・支持する：71%
  - ・支持しない：27%
- 2020年
- ・支持する：62%
  - ・支持しない：35%
- 2021年
- ・支持する：61%
  - ・支持しない：37%

ウ 各分野における「ロ」政権の取組を如何に評価するか。

ワクチン接種

- ・とても良い、又は良い：76%（前回74%）
- ・とても悪い、又は悪い：17%（前回18%）

経済

- ・とても良い、又は良い：49%（前回54%）
- ・とても悪い、又は悪い：38%（前回37%）

治安対策

- ・とても良い、又は良い：40%（前回36%）
- ・とても悪い、又は悪い：51%（前回53%）

汚職対策

- ・とても良い、又は良い：39%（前回41%）
- ・とても悪い、又は悪い：47%（前回48%）

エ 本日が大統領信任投票日であった場合、如何に投票するか。\*

- ・信任票を投じる：63%（前回62%）
- ・不信任票を投じる：33%（前回34%）

オ 総じて、メキシコは良い道を辿っていると思うか、悪い道を辿っていると思うか。\*

- ・良い道を辿っている：49%（前回39%）
- ・悪い道を辿っている：30%（前回28%）

カ メキシコが現在抱える主要課題はどれか。

- ・治安の悪さ：47%（前回44%）
- ・経済、失業：20%（前回23%）
- ・新型コロナウイルス、保健：12%（前回10%）

（2）5日、エル・フィナンシエロ紙が、18名の閣僚の評価に係る世論調査結果を発表（12月10～12日に、全国の有権者600名を対象に電話で調査を実施。誤差±4.0%。）。

18名中、「とても良い、又は良い」と評価した者の割合が最も高かったのはエブラル外相（「とても良い、又は良い」：53%、「とても悪い、又は悪い」：24%）であった。

## 2 福祉大臣他、政府要職人事の発表

11日、「ロ」大統領は、福祉大臣（マイ大臣の国家観光促進庁長官（注：マヤ鉄道を担当するポスト）への転任、モンティエル福祉省次官の大臣昇格）、運輸通信省次官、メキシコ市国際空港長官他の政府要職の一部交代人事を発表した。

## 3 エネルギー関連憲法改正案に係る議会公聴会の開始

17日、「ロ」大統領が10月1日に提出したエネルギー関連憲法改正案に係る議会公聴会が開始（2月15日までの予定。連邦下院主催）。公的機関、学界、コンサル企業等、同憲法改正案への賛成派、反対派双方の関係者が参加し、1週間に4～5回程の討論（原則公開）が行われる。

## 4 大統領（不）信任投票の開催決定

18日、国家選挙機構（INE）は、4月10日に実施予定の大統領信任／罷免投票の開催に必要な署名数（注：全国32州中少なくとも17州において有権者の3%以上）が集まり、同機構により有効と判断された旨発表。4月10日に予定通り実施されることが決定した。

## 【外交】

### 1 エブラル外相とボリッチ次期チリ大統領の会談

6日、「エ」外相は、チリを訪問し、ボリッチ同国次期大統領と会談。両者は、両国が進歩的なビジョンを共有する点を強調し、ラ米カリブ諸国の他の進歩主義政府とともに国際場裏で共通の声を上げることに合意した。また、「ボ」次期大統領が近日中に訪墨するよう招待し、チリの次期政権が、本年メキシコが議長国を務める太平洋同盟への参画を優先させることを歓迎した。

### 2 ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）外相会合の開催、議長国の交代

6日～7日、アルゼンチンでCELAC外相会合が開かれ、「エ」外相が出席。2020～21年に2年連続でメキシコが務めたCELAC議長国の任をアルゼンチンに引き継いだ。

### 3 墨在外公館長会議の開催

10日～14日、墨在外公館長会議が開催。「エ」外相は開会式で、墨外交の本年の主要課題として、新型コロナウイルス感染症対策、治安問題、経済回復、墨歴史・考古学遺産の

保護及び回復、及びフェミニスト外交の推進を挙げた。また、「ロ」大統領は、ビデオメッセージで、墨外交の最重要事項は、①在外墨国民の保護、②北米経済統合の強化、③米州経済統合の推進、④亡命者の保護、⑤あらゆる外国との友好的かつ相互尊重の関係の維持である旨述べた。

#### 4 北朝鮮によるミサイル発射に対する墨国連代表部常駐代表の演説

10日、5日の北朝鮮による極超音速と類別されるミサイルの発射を受け、デ・ラ・フエンテ墨国連代表部常駐代表は、国連安保理の北朝鮮に関する協議で演説。同ミサイル発射に深刻な懸念を表明し、強く非難した。また、北朝鮮の核・弾道ミサイル・プログラムを停止するために国連安保理が課した制裁措置が機能していないことは明確であるとした上、(北朝鮮に)より大きな影響力を持つアクターに対し、朝鮮半島の完全かつ検証可能で不可逆的な非核化に繋がる対話を再開するための努力を惜しまないよう呼びかけた。

#### 5 日墨外相電話会談の開催

12日(日本時間13日)、林外務大臣と「エ」外相との間で、日墨外相電話会談が開催。両大臣は、法の支配に基づく国際秩序の維持・強化のためのFOIPの実現に向けた連携、核軍縮他に係る国際場裏での連携、ミサイル発射や拉致問題を含む北朝鮮情勢と同国への対応に係る連携、TPP11を含むインド太平洋地域の国際秩序(TPP11のハイスタンダードを維持することの重要性につき一致)、メキシコのビジネス環境整備(特にエネルギー分野における法的安定性の確保)等につき意見交換を行った。

#### 6 墨政府、ジャマイカにアストラゼネカ社製ワクチンを贈与

14日、墨政府はジャマイカに対し、墨国内で完成形にしたアストラゼネカ社製の抗新型コロナウイルス・ワクチン6.5万ドースを贈与した。

#### 7 墨グアテマラ外相会談の開催

18日、プロロ・グアテマラ外相(当時)が訪墨。「エ」外相と会談し、地域的な人身売買ネットワークと闘うための即時行動グループでの取組の継続、両国の正規の国境通過地点のインフラ及び開発、税関相互支援協定の早期発効につき確認した。また、移民の主要送り出し元であるグアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル及び墨南部の開発支援諸案件につき協議を行った。

#### 8 墨・インド外相電話会談の開催

19日、墨・インド外相電話会談が開催。「エ」外相及びジャイシャンカル・インド外相は、両国間の特別なパートナーシップの強化に引き続き取り組み、保健分野、特に医薬品の共同生産及び規制分野に係る二国間協力を推進することを確認した。また、「ロ」大統領が

11月に国連安保理で発表した「友愛及び福祉のための世界計画」に関し協議を行い、国連及びG20での承認に向けて協働することに合意した。

#### 9 グランホルム米国エネルギー長官の訪墨

20日～21日、グランホルム米国エネルギー長官が訪墨。「ロ」大統領、「エ」外相、ナレ・エネルギー相、シェインバウム・メキシコ市長、墨議会関係者他と会談し、クリーン・エネルギー分野での墨米間協力、墨のエネルギー関連憲法改正案等につき協議を行った。

「ロ」大統領は会談後、同憲法改正案の説明を「グ」長官が理解したと述べたが、21日に発出された「グ」長官（米政府側）のステートメントでは、同憲法改正案に対する懸念を墨側へ明示的に伝達した旨が強調された。なお、「グ」長官の訪墨に先立ち、米国上院外交委員会委員4名が、墨エネルギー関連憲法改正案改正についてより強い対応をとるよう米国政府に求める書簡を発出した。

#### 10 墨コロンビア外相会談の開催

25日、「エ」外相は、太平洋同盟閣僚会合への出席のためコロンビアを訪問した機会に、同国のラミレス副大統領兼外相と会談を行った。同会談では、治安及び武器密輸対策、新型コロナウイルス感染症の衛生・経済分野への影響への対応、地域の衛生的自給の構築、並びに科学技術に係る協力につき協議が行われた。

#### 11 「エ」外相のホンジュラス訪問

27日、「エ」外相は、ホンジュラスを訪問し、同国の大統領就任式に出席。28日にカストロ新大統領と会談を行った。「カ」新大統領は、「ロ」大統領に宛てたビデオメッセージにおいて、メキシコがホンジュラスの同盟国である旨、今後両国の連帯を強化したい旨を述べた。「エ」外相は、自身のツイッターで、ホンジュラスに民主主義が返り咲いた旨、不平等及び汚職と闘う「カ」新大統領の健闘を祈念する旨等を発信した。

#### 12 墨米ハイレベル治安対話のフォローアップ会合が開催

31日、メキシコ市にて、「エ」外相、ロドリゲス治安・市民保護相他出席の下、墨米ハイレベル治安対話のフォローアップ会合が開催。2022～24年の3年間で200周年了解を実行に移すための102の具体的行動を記載した共同行動計画が採択された。右を受け、墨外務省は、両国の主権尊重及び共同責任の原則の下、両国民の保護、銃器及び麻薬密輸等の越境犯罪の防止、及び犯罪ネットワークの追及のための両国間協力が開始される旨発信した。なお、26日には、平和構築及び犯罪組織との闘いに向け米国からメキシコへの銃器及び麻薬の流入を削減するための作業部会が開催され、国境警備の近代化、犯罪人引渡、インテリジェンス情報交換等につき協議が行われた。 (了)